

株式会社彌満和ホールディングスに対する 「Mizuho ポジティブ・インパクトファイナンス PRO」の実行について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦）は、本日、株式会社彌満和ホールディングス（代表取締役社長：渡邊 吉一、以下「彌満和ホールディングス」）に対し、「Mizuho ポジティブ・インパクトファイナンス PRO」（※1、以下「本商品」）を実行しました。

本商品は、ポジティブ・インパクト金融原則（※2）に基づいて開発したインパクト評価フレームワークを活用し、お客さまの企業活動が与える社会的インパクト（ポジティブな影響とネガティブな影響、※3）を包括的かつ定量的に評価します。その評価において「ポジティブ・インパクトの創出およびネガティブ・インパクトの抑制が認められる」と確認された場合、当該取り組みの継続的な支援を目的としてファイナンスを行うものです。

2021年に設立された彌満和ホールディングスの中核企業である株式会社彌満和製作所は、1923年の創業以来、日々進歩する技術のニーズに合った最高品質の切削工具（タップ・ダイス・センタ穴ドリル等）を追求し、研究・開発を続けてきたタップメーカーです。「ねじを通じて工業界に貢献する」という精神を尊び、高品質で高性能な製品の安定供給を通じて、産業分野の技術革新と社会に貢献し続けることをめざしています。サステナビリティでは、ISO 9001（品質マネジメントシステム）・ISO 14001（環境マネジメントシステム）を取得しており、ISO 9001を取得した日本初のタップメーカーとして、高い水準での品質管理と地球環境への細やかな配慮をモットーとした企業であり続けることをめざしています。

〈みずほ〉は、このような企業活動を中心に、特にSDGsの目標達成に対しインパクトを与える活動として、別紙記載のテーマについて定性的・定量的に評価しました。

また、株式会社日本格付研究所（JCR）から本件評価にかかるポジティブ・インパクト金融原則への適合性、および環境省のESG金融ハイレベル・パネル設置要綱第2項(4)に基づき設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースが纏めた「インパクトファイナンスの基本的考え方」との整合性について第三者意見を取得しています。

〈みずほ〉は、インパクト評価ならびにインパクト測定・マネジメント（※4）をお客さまとのエンゲージメントを通じて行い、ファイナンス面からポジティブなインパクトの創出を支援していきます。また、今後もお客さまのサステナビリティへの取り組みについての多様なニーズに応えるため、SX推進支援の拡充に取り組んでいきます。

<案件の概要>

融 資 先 : 株式会社彌満和ホールディングス
金 額 : 15 億円
資 金 使 途 : 運転資金
実 行 日 : 2026 年 3 月 31 日
契 約 期 間 : 5 年

Mizuho ポジティブ・インパクトファイナンス PRO 一次評価書

(https://www.mizuhobank.co.jp/corporate/finance/growing_field/pif_pro/pdf/2025_03.pdf)

※1 : 「Mizuho ポジティブ・インパクトファイナンス PRO」

2022 年 10 月 6 日付プレスリリース「Mizuho ポジティブ・インパクトファイナンス PRO」の取扱開始について

(https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20221006release_jp.pdf)

※2 : ポジティブ・インパクト金融原則

国連環境計画・金融イニシアチブ（UNEP FI）の銀行および投資メンバーであるポジティブ・インパクト・ワーキンググループが 2017 年に発表した SDGs 達成に向けた金融の共通枠組みであり、持続可能な開発の 3 側面（環境・社会・経済）について、ポジティブ・ネガティブの両面からインパクト評価を行う包括的内容となっている。また、UNEP FI はインパクト特定のツールとして、12 のインパクトエリアと 34 のインパクトトピックからなるインパクトレーダーを提示している。

※3 : 社会的インパクト




「短期、長期の変化を含め、当該事業や活動の結果として生じた社会的、環境的なアウトカム」のこと。アウトカムは、事業や取り組みのアウトプットがもたらす変化、便益、成果のこと。

※4 : インパクト測定・マネジメント（Impact Measurement and Management, IMM）

グローバル・インパクト投資ネットワーク（GIIN）の定義に基づき、ネガティブなインパクトを低減させ、ポジティブな社会的・環境的インパクトの意図的な創出について、その測定とマネジメントを実行すること。

以 上

特定された インパクト	KPI	SDGs
		17の目標
零細・中小企業の 繁栄 (ポジティブ)	【KPI】 ・お客さまへの納品遅延件数：毎年0件を維持	
健康および安全 性 (ネガティブ)	【KPI】 (1) 度数率(※)：2030年12月期までに1.3以下 (※) 100万延べ実労働時間あたりの労働災害(休業1日以上)による死傷者数 (2) 有給休暇取得率：2030年12月期までに75%以上	
賃金 (ポジティブ)	【KPI】 (1) 評価制度改定実施：2029年12月期までに評価制度を改定 (2) 給与体系見直し実施：2028年12月期までに給与体系見直しを実施	
ジェンダー平等 (ネガティブ)	【KPI】 ・女性の管理職または女性のスペシャリスト職(※)数：2030年12月期までに合計60人以上 (※)スペシャリスト職： 1. 使用機械等または特定の分野に対して専門の知識・技術・技能をもっていること。 2. 機械トラブルまたは特定の分野のトラブルが生じた時に問題解決が出来ること。 3. 新しい機械の加工方法および業務の内容に対応し、技術・技能の伝承が出来ること。	
気候の安定性 (ネガティブ)	【KPI】 ・生産本数1,000本当たりのScope1,2排出量：2031年3月末までに65.28%削減(2014年3月末比)	
水域 (ネガティブ) 大気 (ネガティブ)	【KPI】 ・生産本数1,000本当たりの産業用油使用量：2030年12月期までに3.6ℓ以下	

特定された インパクト	KPI	SDGs
		17の目標
		  
資源強度 (ネガティブ) 廃棄物 (ネガティブ)	【KPI】 (1) タップ製品総売上高に対する環境配慮商材(※)の売上高比率：2030年12月期までに10.5%以上 (※) ロールタップ： 切りくずを出さずにねじ加工が出来る製品。ねじ加工時に切りくず処理の必要がないため、ユーザーであるねじ加工会社の効率性向上と鉄くずなどの産業廃棄物の低減が図れる (2) リサイクル率(部品の切れ端、レアメタル等)：毎年100%を維持	